

人類学	文化人類学
-----	-------

[講義] 第1学年 後期 選択 2単位

《履修上の留意事項》対面授業と一部遠隔授業の併用実施

《担当者名》花渕 馨也

【概 要】

「人間と動物」の関係について、地球誕生から現代までの人類史と世界の多様な文化の事例をとり上げて検討することで、野生を支配しようとしてきた近代以降の「人間中心主義」を見つめ直し、社会的、文化的存在として生きる人間についての理解を深める。

【学習目標】

1. 異文化理解や他者理解に関する文化人類学的アプローチの視点と方法について説明できる。
2. 文化の多様性について学ぶことで自文化の「あたり前」を相対化する視点を身につける。
3. 看護や福祉の基盤となる深い人間理解のための見識を養い、広い世界を見通すのための視野を身につける。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	講義の目的と内容についての説明	花渕
2	パンツをはいたサル	ヒトと動物のちがいについて考える	花渕
3	生き残ったホモサピエンス 遠隔授業	ヒトらしさの進化について考える	花渕
4	オオカミ少女にもなれる	文化の恣意性と自明性について考える	花渕
5	ヒトとは？	ヒトの生き方の特徴（R1）	花渕
6	動物を狩る、動物を飼う	狩猟採集の生活と農耕牧畜による変化について考える	花渕
7	「私はカンガルーだ！」	トーテミズムとアニミズムの思想について考える	花渕
8	サクリファイス	動物供犠と供養の心について考える	花渕
9	ナブ（非人間）としての私たち	ヤノマミの生き方について考える	花渕
10	人間と動物の対称性	狩猟採集社会における人間と動物（R2）	花渕
11	絶滅動物と動物工場	人類繁栄の代価について考える	花渕
12	動物の愛し方	ナチスと動物保護法について考える	花渕
13	イルカ漁問題を考える	残酷性と文化摩擦について考える	花渕
14	ヒューマニズムと動物性	現代社会における動物と人間（R3）	花渕
15	まとめ	講義全体のまとめ	花渕

【評価方法】

レポート100%

【備 考】

教科書 : なし

参考書 : 奥野克巳・花渕馨也共編 『文化人類学のレッスン：フィールドからの出発』 学陽書房

【学習の準備】

予習：講義で出された課題について考えてくること(80分)

復習：講義の内容を整理し、自分の考えをまとめておくこと(80分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,1